

ドル円、一時 142 円台半ばまで下落

GLOBAL MARKETS RESEARCH

リサーチアシスタント 齋藤 賢斗
横尾 明彦

三菱 UFJ 銀行

A member of MUFG, a global financial group

令和 4(2022)年 9 月 15 日

前営業日の市況

ドル円は東京時間早朝に直近高値 144.99 を試す展開となったが、高値更新はならなかった。神田財務官の牽制発言があり上値を抑えられると、鈴木財務相が為替介入を辞さない構えを明らかにしたうえで、(為替介入の執行を担う日銀が)「レートチェック」実施との日経新聞報道もあって下げ幅を拡大。その後、海外時間でも断続的に水準を切り下げるなか、米生産者物価指数 (PPI) が市場予想を下回ったことも相俟って、安値 142.56 まで下落した。取引時間終盤には 143 円台を回復したが、上値は重く 143.17 で引けている。(横尾)

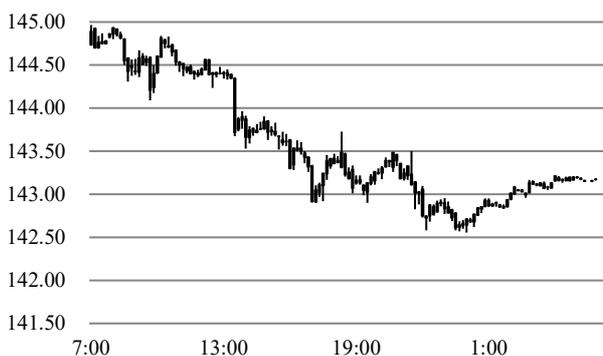
本日のポイント

本日は 8 月の米小売売上高が発表される。ガソリン価格下落の影響で全体では前月比マイナス成長となる見込みで、ヘッドラインに注意。除く自動車・ガソリン、あるいは実質ベースの伸びに注目すべきだろう。ただ、来週の FOMC への影響という点では影響は大きくないか。翻って、本邦では当局による円安牽制の姿勢が一段強まっている。目先は、高値を試す動きを仕掛けにくいだろう。本日も牽制発言などが繰り返されるようであれば、ドル円は CPI での上昇分を解消するような動きになり得よう。(齋藤)

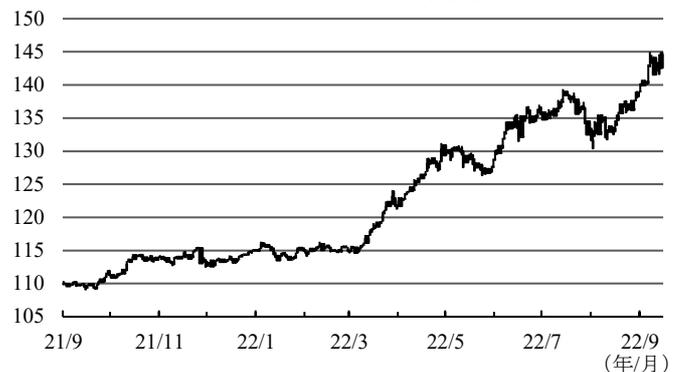
本日のディーラー予想

ドル円	ユーロドル	ユーロ円
142.50~143.80	0.9920~1.0050	142.10~143.60

前営業日のドル円相場推移



直近1年のドル円相場推移



(出所) グラフは Bloomberg EBS、文中の為替データは弊行 4 本値

